

明治維新百五十年祭

旧陸軍第十師団の顕彰

第十師団と姫路 ～正しい歴史を未来へ～



第十師団司令部



第十師団司令部



血染めの軍旗

かつて「**鐵**」と呼ばれた師団があった

その歴史は**姫路**とともにあった



兵庫縣姫路護國神社

日時

平成
30年

11月2日(金) ▶ 3日(土)

9:00~17:00

9:00~16:00

護國神社参集殿一階にてパネル展示

主催：兵庫縣姫路護國神社崇敬奉賛会
後援：公益社団法人 隊友会 兵庫縣隊友会姫路支部



陸軍大臣 大山 巖 大将

伏見宮貞愛親王

川村 景明 中将

松川 敏胤 少将

宇垣 一成 中将

第10師団の歴史

| 元号 | 主な出来事 | | 第10師団 |
|----|--|-------------------------------------|--|
| | 日本 | 姫路 | |
| 明治 | 日清戦争 (1894-1895) | 姫路市制を敷く。 (1889) | 第10師団編成 (明治31年(1898年)10月1日) |
| | 日露戦争 (1904-1906) | 明治天皇行幸 (1903) 播但線開通 (1906) | 日露戦争動員命令 (明治37年(1904年)10月16日) 第4軍(軍司令官野津道貫)の隷下部隊として遼陽会戦、沙河会戦、奉天会戦に参加し大活躍する。 |
| 大正 | 第1次世界大戦 (1914) 関東大震災 (1923) 満州事変 (1931) | 山陽電気鉄道開通 (1927) | 満州事変出動命令 (昭和7年(1932年)4月5日) 吉林省で掃討作戦実施後、昭和9年(1934年)4月帰国する。 |
| | 日中戦争 (1937) | 広畑製鉄所操業開始 (1939) | 動員命令 (昭和12年(1937年)7月) 台児荘の戦い、徐州会戦、武漢攻略戦に参加し、昭和14年(1939年)に帰国する。 特に、徐州会戦では広島第5師団などと共に大いに奮戦し功績を遺す。 |
| 昭和 | 日・独・伊三国同盟 (1940) | | 関東軍の直属師団として佳木斯に駐屯する。 (昭和15年(1940年)) 満州国において対ソ連の訓練や抗日パルチザン掃討等の治安維持活動に従事する。 |
| | 大東亜戦争 (1941-1945) | | 太平洋方面に配置される。 (昭和19年(1944年)2月) 米軍の侵攻に備えるため、当初師団の一部が太平洋方面に配置されたが、情勢の緊迫化に伴い、同年7月師団主力も南方派遣が決定され、風雲急を告げるフィリピンルソン島に投入された。 第10師団は、尚武集団としてバレテ峠、サラクサク峠で約半年間に渡る持久戦を展開したが、衆寡敵せず壊滅状態となり、そのまま終戦を迎えた。 |
| | 大東亜戦争終戦 (1945) | 大空襲を受ける。 (1945) | 廃止 (昭和20年(1945年)8月15日) |